

ちば県議会だより

一般質問

二月定例会での
質問者と質問項目

質問項目は、紙面の都合上、一人四項目まで掲載しています。詳細は、千葉県議会ホームページ等で確認できます。

三月一日(月)



横堀 喜一郎 議員 (民主党)

山武長生夷保健医療圏整備
圏央道整備
飼料用米作付け拡大と地産地消
県報の電子化



木下 敬二 議員 (自民党)

漁業問題
建設工事に関する入札制度
特別養護老人ホームの待機者問題
子どもの医療費助成



伊藤 勲 議員 (自民党)

成田空港問題
農業問題
道路問題



鶴岡 宏祥 議員 (自民党)

地域医療再生計画
工業団地
農業問題
道路・河川問題



赤間 正明 議員 (公明党)

財政問題
ホースセラピー
脳脊髄液減少症
ドクターヘリ事業



亀田 郁夫 議員 (自民党)

耐震化
看護師不足
道路問題



江野澤 吉克 議員 (自民党)

かずさアカデミアパーク
農業問題
港湾事業
有害鳥獣対策



篠崎 史範 議員 (民主党)

平成二十二年度予算案
県道の歩道整備
新京成電鉄の高架事業
東葛飾地域における重症心身障害児(者)施設の建設



内田 悦嗣 議員 (自民党)

土地造成整備事業の収束
特別支援教育
いじめ問題への対応
河川海岸整備



林 幹人 議員 (自民党)

空港関連
自殺対策
動物愛護
地上デジタル放送



田中 信行 議員 (民主党)

不正経理問題
財政健全化計画
県が係わる事業体の運営



伊藤 和男 議員 (自民党)

企業誘致
成田空港
保健医療問題
農業問題



山本 義一 議員 (自民党)

警察行政
道路問題
農業問題
教育問題



山中 操 議員 (自民党)

県税問題
県営住宅の管理
警察行政
ペットボトル水

三月四日(木)



矢崎 堅太郎 議員 (民主党)

京葉線とのかい線の相互乗り入れ
東葉高速鉄道
ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉
食の安全



矢野 光正 議員 (自民党)

総合計画
東葉高速鉄道
県道市川印西線 通称木下街道
の整備
教育問題



西田 謙 議員 (自民党)

地方分権
東葉高速鉄道
総合周産期医療
障害児施策



阿部 絃一 議員 (自民党)

不正経理問題
病院問題
教育問題
信用保証協会

不正経理調査特別委員会を開催



9月定例会において設置され、不正経理問題の原因究明と再発防止に向けた今後の対応について、10月から3月まで15回にわたり開催され、審査が行われました。

決算審査特別委員会を開催



9月定例会において設置され、平成20年度決算認定についての付託を受け、10月から2月まで11回にわたり開催され、審査が行われました。

新しく選出された県議会議員
(1月24日補欠選挙)



山本 義一 議員

6月定例会の予定

- 5月28日 開会
- 6月3日~10日 代表・一般質問(土日を除く)
- 14日~17日 常任委員会
- 22日 閉会

2月定例
県議会

知事あいさつ

提案理由の説明に先立ち、不正経理問題について申し上げます。不正経理問題については、皆様からの厳しいご意見やご指摘をいただき、平成20年度決算については「不認定」と議決されました。これらの点については重く受け止めるとともに、二度と同じ不祥事を繰り返さないよう、深く心に刻み込みたいと思います。新年度からは、職員一丸となり、心機一転、前向きな県政に取り組んでまいります。

初めに、総合計画、行政改革計画及び財政健全化計画の3計画の策定について申し上げます。

総合計画については、「輝け!ちば元気プラン」として提案いたしました。この中で、「千葉は元気の発信源。首都圏、日本をリードし、県民が「くらし満足度日本一」を感じ、誇れる千葉県の実現」を基本理念に掲げました。この実現に向け、「安全で豊かなくらしの実現」「千葉の未来を担う子どもの育成」「経済の活性化と交流基盤の整備」という、3つの基本目標を設定いたしました。

行政改革計画については、「公正・透明な行財政運営の確立」「県庁のポテンシャルの最大化」「チームスピリットの発揮」など、6つの改革の視点・基本的方向に沿い、「県政の推進を支える柔軟な運営システムの構築」を目指します。

財政健全化計画については、県税徴収対策の充実・強化などによる歳入の確保、徹底した事務・事業の見直しによる歳出の抑制に加え、将来負担の軽減に向けた取り組みを実施することにより、「持続可能な財政構造の確立」を図ってまいります。

平成22年度当初予算は、次の3つの考え方に立って編成しました。

1. 「くらし満足度日本一」の実現に向けた施策を実施すること
 2. 「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会」を県民総参加で成功させ、千葉県の魅力を県内外に発信すること
 3. 切れ目のない経済・雇用対策を実施すること
- この結果、一般会計の当初予算規模は、1兆5,334億8,300万円でとなりました。
- 歳入は、県税が大幅に減少するものの実質的な地方交付税は大幅に増加する見込みです。
- 一方歳出は、投資的経費は大幅に減少しており、人件費は給与改定の影響などから減少する見込みです。
- このため、年間収支については、現段階では収支均衡となる見込みです。



次に、当初予算において措置した主な事業について、概要を申し上げます。

1. 「子どもの育成支援」
子どもの医療費に対する助成を、平成22年12月から小学校3年生まで拡大し、保育所の整備の促進や、遊び場の確保・安全で安心な居場所づくりへの市町村事業への支援、子ども手当の県負担分の措置、富浦学園の建替えなどを進める。
 2. 「高齢者・障害者福祉の充実」
特別養護老人ホームの整備の促進や、高齢社会のあるべき姿を検討する調査・分析、介護負担軽減を図るための施設の確保、認知症疾患医療センターや知的障害等のある刑務所受刑者出所後のための地域生活定着支援センターの設置などを行う。
 3. 「医療体制の整備」
公的医療機関の施設整備への助成の増額や、母体及び胎児から新生児までの一貫した医療体制の充実、小児疾患、新生児疾患の診断・治療を行う医療施設・設備の整備への助成や、地域の二次救急医療への支援、地域医療従事者の確保などを行う。
 4. 「経済・雇用対策の拡充」
経済・雇用対策を拡充し、地域経済の活性化や中小企業の経営安定と成長の支援、商店街の活性化への取組に対し助成を行う。
- その他、
5. 「安全・安心の確保」
 6. 「学校教育・スポーツの振興」
 7. 「観光振興と地域活性化」
 8. 「農林水産業の振興」
 9. 「良好な自然・生活環境づくり」
 10. 「社会基盤の整備・まちづくり」
- 以上です。

最後に、平成21年度2月補正予算と、議案の概要説明等がありました。